

10月公演

女流義太夫演奏会

テーマ 肩衣 かたぎぬ

義

太

夫

お話し 鶴澤 賀寿

こいむすめむかしはちじょう
恋娘昔八丈

すすがもり
鈴ヶ森の段

浄瑠璃 竹本佳之助
三味線 鶴澤津賀榮

くるわぶんししょう
曲輪 焯

よしだやだん
吉田屋の段

浄瑠璃 竹本綾之助
三味線 鶴澤津賀花
ツレ 鶴澤 弥々



鶴澤弥々



鶴澤津賀花



竹本綾之助



鶴澤津賀榮



竹本佳之助

2023年10月13日 金

18時30分開演 [18時開場]

お江戸日本橋亭

東京都中央区日本橋本町3-1-6 日本橋永谷ビル 03-3245-1278

- 東京メトロ銀座線三越前駅A10出口徒歩2分
- JR総武線新日本橋駅徒歩2分

主催 ● 一般社団法人義太夫協会 / 義太夫節保存会

後援 ● 公益財団法人日本伝統文化振興財団

助成 ● 文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会



料金◎4,000円/完全予約制/全席自由

*定員になり次第締め切ります。

会員・学生・障がい者手帳をお持ちの方 3,000円

予約受付: 2023年9月11日(月)10時30分より

☎ 03-6264-3047 ※8月より左記の電話番号になりました。

✉ am-giday@gidayu.or.jp

お一人様2枚まで お電話またはメールにて。

10時30分より前のメールは無効とさせていただきますのでご注意ください。

*未就学児の入場をご希望の方は当協会までお問合せください

一般社団法人 義太夫協会

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目3-12 秀和第二築地レジデンス706号室

TEL.03-6264-3047 FAX.03-6264-3048

● http://www.gidayu.or.jp/ ● E-mail: am-giday@gidayu.or.jp

恋娘昔八丈

鈴ヶ森の段

【解説】

安永四年（一七七五）江戸外記座初演。松貫四、吉田角丸の合作。江戸の町で実際に起こった夫殺しの事件を元に、お家騒動を絡ませていきます。歌舞伎、新内などにも同じ内容の作品があり、多くの改作が生まれました。

『髪結新三』もそのひとつです。

【あらすじ】

鈴ヶ森の置き場場所には、許婚の喜蔵を殺したため処刑されることになった美しいお駒の顔を一目見ようと大勢の見物人が集まっています。お駒の恋人、才三郎が探している家宝の茶入れを盗んだのが喜蔵だとわかり、その喜蔵をお駒は思わず殺してしまったのです。処刑の時刻が迫ったその時、喜蔵の一味である丈八を才三郎が縄にかけ、赦免状を手にして駆け付けます。お駒の縄は解かれ、一同喜びの涙となります。



曲輪樟

吉田屋の段

【解説】

近松門左衛門作。正徳二年（一七一二）大阪竹本座初演。大坂の新町に実在した芸妓・夕霧にちなんだ物語です。本来は「夕霧阿波の鳴門」という上中下三巻の世話物です。夕霧没後に追善として数多くの芝居作品が生み出されましたが、この作品はその代表作となっています。上巻だけが独立し、「曲輪樟」として度々上演されています。

【あらすじ】

新町の名妓・夕霧と深い仲になった伊左衛門は、多額の借財を作り親から勘当され、放浪の身に。夕霧も心痛のあまり患ってしまいます。暮れの支度に華やぐ廓、扇屋の座敷に呼ばれた夕霧は、図らずも、みすばらしい紙衣姿で吉田屋の亭主喜左衛門を訪ねてきた伊左衛門と再会するのです。しばらくぶりに逢った二人は互いに恨み言を言い合うのですが、伊左衛門の母が勘当を解いたという知らせが届き、夕霧の病も癒えて、円満な幕引きとなります。

◎お客様にお願い◎

- 発熱、他の風邪諸症状・体調不良等のある場合はご来場をお控えください。
- 会場内ではマスクの着用を推奨いたします。
- 曲間・幕間に換気を行います。
- 上演中に声掛けをする場合は必ずマスクの着用をお願いいたします。
- 演奏中の私語は周りのお客様のご迷惑になりますのでお慎みください。
- 大きなお手荷物の持ち込みはご遠慮ください。
- 会場備え付けのスリッパは使えません。必要な方はご持参ください。
- ご予約いただいたお客様は、当日受付にて入場料をお支払いください。

義太夫協会 会員募集!

義太夫協会主催公演の入場料が割引になるサポーターシステム（賛助会員）は常時会員募集中です。詳しくは義太夫協会までお問い合わせください。



お江戸日本橋亭 03-3245-1278

次回11月公演

女流義太夫演奏会 2023年11月20日 [月] お江戸日本橋亭

開演◎18時30分 [開場◎18時] 料金◎4,000円/会員・学生・障がい者手帳をお持ちの方3,000円